

警告：あなたは 「コピペ社員」に なっていないか？

AIを「魔法」と勘違いする男と、
「相棒」にする男の境界線。

finet

AIの回答をそのまま貼る



自分で考え、検証・再編集する



同じ依頼でも、AIの使い方は分かれる

上司からの依頼

明日の経営会議用に、
新規市場の分析資料を
作ってくれ

翔太（24）

AIに丸投げすれば、
5分で終わりそうだ

健太（24）

まずは構成のアイデア出しと
ドラフト作りにAIを使おう



AIの回答を、そのまま貼り付ける

翔太（24）

コピペ完了。
これで仕事は終わりだ

コピペ社員の誕生である。

思考の停止

AIの回答を鵜呑みにし、
コピペさえすれば仕事が終わったと
思い込む。

本来行うべき「分析」や「検証」を放棄。



AIをたたき台に、検証し、再編集する

健太（24）

専門知見による検証

古いデータや
ハルシネーションを見抜く。
専門知見をもとに確認する。



再編集

内容への深い知見と理解に基づき、
上司の好む「伝わる資料」へ
構成を整える。



戦略的活用

「資料が完成したら、A社に
提案の電話を入れよう」
浮いた時間を顧客との対話や
戦略立案に充てる。



提出する書類への責任は、自分にある

構成の不備

何を伝えたい資料なのか、
構成を見直そう

表現の不適切さ

社員として、この表現も
確認が必要だね

翔太
「AIが出した文章を
そのまま使ったので……」

責任感の欠如

「AIが言ったことだから」という他責の念。
自分の書類に対する責任感の消滅。



数字の根拠を、自分の言葉で説明できるか

翔太

上司「この市場予測の数字の根拠は何なんだ？」

自分の頭で考えていないため、
些細な質問にも答えられない。



健太

上司「こっちの資料は完璧だ。
最新の動向もよく分析できている」

「AIのドラフトをベースに、自社の
独自データを掛け合わせて調整しました」



ビジネススキルの有無が、信頼の差になる

ビジネススキルのある人

AIを真の相棒にする人

信頼と評価の向上

時短 × 高品質

表現力で「伝わる資料」に再編集できる。

浮いた時間を顧客との対話や戦略立案に充てる。



ビジネススキルの乏しい人

コピペ社員の罠

社員としての信頼失墜

低品質 × 無責任

AIの生成文を繋ぎ合わせただけの、読みにくい資料。

誤情報や一般論をそのまま提出する。



人を育てずして、AIの成功なし

ツールに振り回される「コピペ社員」を防ぎ、
AIを戦略的に使いこなす次世代の
プロフェッショナルへ。

フィネットの研修プログラムは、
AI時代にこそ不可欠となる

「自ら考え、検証し、伝える」

強固なビジネススキルを育成します。

AI活用スキル

ビジネススキルの土台

専門的知見
論理的構成力
プロの責任感

「コピペ社員」を防ぐ鍵は、 人材育成です。

自ら考え、検証し、伝える力が、
AIの回答を仕事の成果に変えます。

フィネットの研修で、
AIを使いこなす社員を育てましょう。